

官能評価結果から見た 「シャインマスカット」果実外観の嗜好性

福島県農業総合センター 生産環境部 流通加工科

1 部門名

果樹—ブドウ—品質・食味

2 担当者名

佐久間宣昭、木村真澄

3 要旨

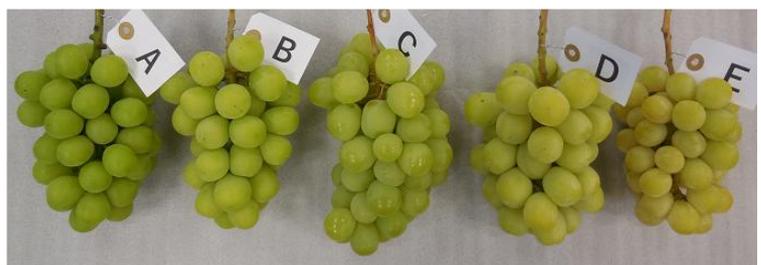
高品質な「シャインマスカット」果実外観について一般消費者の嗜好性を明らかにするため、果房の大きさや形状、果粒の大きさ、果房の色合いについて官能評価を行った。

その結果、果房重は600~700gで粒が揃い、房締りがよく、果粒の大きさは14g以上のものの評価が高く、果房の色合いは黄化が進んだもので評価が低かった。

- (1) 400~800gの果房8サンプルを供試して官能評価を行ったところ、600~700gの大きさと粒の大きさが揃い、房締りのよい果房の評価が高かった(図1)。
- (2) 大粒ブドウとして認識する果粒重の回答割合は、8g以上が0%、11g以上が11%、14g以上が84%、17g以上が5%で、14g以上を大粒と評価する回答が多かった。
- (3) 果房の色合いは、緑色~黄緑色の果房に比べ、黄化の進んだ果房の評価は低かった(図2)。



図1 評価最上位の果房
(果房重691g、1粒重14g)



カラーチャート値	1.5	2.5	2.5	3.5	4.5
評点	87	100	92	92	39
(評価の一番高いBを100とした場合の、各果房の評点)					

図2 果房の色合いの評価

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和6~7年度

(2) 研究課題名 育成センサーの開発と日本のスマート農業の創出

[福島国際研究教育機構における農林水産研究の推進 (JPFR25020102)]

5 主な参考文献・資料

- (1) 小林和司ら, ブドウ「シャインマスカット」の収穫適期の把握と専用カラーチャートの開発, 山梨県総合理工学研究機構研究報告書 第7号, 2012

官能評価は令和7年9月17日と19日に農業総合センター職員38名をパネリストとして実施した。